

野津田公園のばら広場を縮小分散しないで存続を求める請願

請願要旨

現在ばら広場には8700㎡に380種840株のバラが植えられています。

野津田公園のバラの美しさとゆったりとした自然の空間を、肌身に感じて癒しを覚える、シーズンになれば1日1000人を超える大勢の市民がバラ鑑賞におとずれています。

町田市発表によると、ばら広場を解体しバスロータリーの周り3か所に分散すると言うことです。その様な計画が今、これまでばら広場を親しく利用している市民や、維持管理に携わっている関係者に相談も連絡もなく進められています。

- ① 計画図から思慮するとバスロータリー周辺の道ばたに植えられるバラを見に来た人は、スポーツ観戦者と同じ通路でかち合ってしまうゆっくり鑑賞することができません。更に道路の反対側のバラを見るためには道路を横断するか、バスロータリー（2連バスの運行を予定しているため回転半径が大きい）を、回り込まなければなりません。このような事は老人、障害者、体の弱い人には負担が大きく危険でさえあるでしょう。
- ② バラの手入れはボランティアが中心で行っておりますが3か所に分散すると隅々まで目が届かなくなり、スポーツ競技開催時は脚立剪定枝を運ぶ台車肥料その他手入れ用具を通路に置く事が出来ず、バラ栽培には欠かすことができない消毒が出来なくなります。

オリンピックの「キャンプ地招致を目指し」と、有りますが現在市民が親しく利用しているバラ広場を解体してしまうと言うのは行政の横暴ではないのか、今、IOCや国も東京都もできるだけ新たな施設を作らず現在ある施設を有効利用し財政の負担を少なくする、と言うのが社会の流れではありませんか、更にJOCはサッカーの試合を大阪で開催も検討と報じられ野津田にキャンプ地を誘致できる可能性は低くなる懸念があります。市民の税金で行う事業としてはリスクが大きいのではありませんか。

※以上から町田市の有数の観光スポットとなっている野津田公園のばら広場を縮小分散させるのではなく、むしろかけがいのない貴重な財産として活用するための措置をご検討いただきたく、ここに要望するものです。

請願項目

ばら広場を現在の場所を移動しないで存続充実して下さい